

令和元年10月23日

## 令和元年度 海外インターンシップ報告書

長野大学 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 2年

実習期間	令和元年9月8日(月)～9月15日(日)	8日間
実習企業	THAI DELICA CO.,LTD.	
実習地	タイ王国	

## 1. 実習目的

Chapter1 purpose

- ①日本人スタッフの仕事は何か、やりがい、日本との違い、困惑などを観察すること
- ②製造業の仕組みを学ぶこと
- ③他国の人々の暮らしや考え方を観察すること

## 2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

本社は長野県松本市にあり、その他にも日本各地に営業所を持つ。主要製品はトラクタと作業機を繋ぐ3点リンク、トラクタ用作業機である。特に3点リンクは国内シェア80%を超えている。インターンシップで訪問させていただいたタイデリカの工場はチョンブリのピントン工業団地というところに位置し、こちらの工場も同様の製品を製造し、各地に輸出している。

## 3. 実習日程

Chapter3 schedule

- 9月8日
- ・台風によりフライト遅延
- 9月9日
- ・羽田空港→スワンナプーム国際空港→シラチャ市内のホテル（移動のみ）
- 9月10日
- ・朝のミーティングに参加
  - ・タイの景気動向、タイデリカ概要についての紹介
  - ・工場見学
  - ・トラクターメーカー訪問
- 9月11日
- ・サプライヤー訪問
- 9月12日
- ・シラチャ市内→スワンナプーム国際空港→クアラルンプール国際空港→プトラジャヤ市内のホテル
- 9月13日
- ・UPMでパームヤシ収穫見学、大学内見学
  - ・クアラルンプール国際空港→スワンナプーム国際空港→バンコク市内ホテル
- 9月14日
- ・バンコク市内視察・観光

・スワンナプーム国際空港→羽田空港

9月15日

・羽田空港到着→解散

#### 4. 実習内容

Chapter4 laboratory

- ・ミーティングの様子を見学
- ・タイの景気動向、タイデリカの概要についての説明
- ・日本人スタッフとの面談
- ・トラクターメーカー（サイアムクボタコーポレーション）訪問  
工場見学、会社概要についての紹介、実際の製品についての打ち合わせの見学
- ・サプライヤー（日鉄物産）訪問  
会社概要についての紹介、日本人スタッフとの面談
- ・UPM (University Putra Malaysia) でのパームヤシ収穫見学、大学内見学

#### 5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

海外インターンシップへ行く前の企業打ち合わせの時、金子社長から、「せっかくのチャンスなので、明確な目的を持って参加して下さい」というお話がありました。そこで私は2つの目標を設定しました。1つ目は日本人スタッフの方に海外で働くことのやりがい、生活することのメリット、デメリットを聞く、2つ目は現地スタッフ、日本人スタッフとの積極的なコミュニケーションを図ることです。海外インターンシップを終えての自己評価としては50%です。1つ目の目標は何とか達成することができましたが2つ目は達成することができませんでした。

タイデリカのスタッフの方々、サイアムクボタコーポレーションのスタッフの方、日鉄物産のスタッフの方々とお話させていただく機会がありました。お話を伺っている中でやりがい・メリット・デメリットについて皆さんに聞いてみたところ多かったのはいい面としては日本で働いている時よりも責任感が強くなる、視野が広がる、でした。反対に悪い面としては日本で働いている時よりもコミュニケーションに気を使う必要がある、でした。タイデリカではタイ人の通訳を挟みタイ人スタッフと日本人スタッフで朝のミーティングが行われていました。その時確かに難しい日本が出てくると通訳の方は戸惑ってしまいミーティングが一旦止まっていました。その時はわかりやすい簡単な日本語にかみ砕いて話していました。通訳の方は完全に日本語を理解し、通訳しているわけではないので、難しい日本語は極力使わないように、自分が伝えたいことが本当に伝わっているのか、という点に気を付ける必要があります。

お恥ずかしい話ですが、海外インターンシップに行く前までは自分はコミュニケーション能力に長けていると思い込んでいました。なので、海外インターンシップにいても現地スタッフ・日本人スタッフの方とも物怖じせず話せるだろうと思っていました。しかし、実際に海外インターンシップへ行ってみるとその思い込みは一瞬でなくなりました。今回一緒に行った浅川さんの方が、はきはきと返事をし、たくさんの質問や自分の意見を積極的に話していました。私は正直、それを見てあっけらかんとしてしまいました。積極的にコミュニケーションを図ることはできませんでした。浅川さんを見て刺激を受けることができました。

今回のインターンシップ中にタイ料理を食べる機会が何度もありました。本当のタイ料理と日本人好みに味付けされたタイ料理両方食べることができました。普段日本で食

べるタイ料理と本当のタイ料理は結構異なる部分があって驚きました。その他にも、移動中に町の様子などを見てみると、思っていたよりも、道路が整備されていたり、建物もきれいなものが多かったり、道に落ちているゴミはほとんどない、タイは男性よりも女性の方が働き者の傾向がありました。このようにタイに来てみないとわからないことはインターンシップ以外にもたくさんありました。

## 6. 今後の課題

Chapter6 problem

今後の課題としては就職についての明確なビジョンを作っていくことをメインに、語学力、コミュニケーション能力の向上を図ることに取り組んでいきます。現在はただ漠然と「海外で働きたい」という希望しか持っていません。これからはなぜ海外で働きたいのか、海外でどのような仕事をしたいのか明確に考えていきます。語学力を持ち合わせていないと海外で働いていくことは難しいというお話があったのでそれに平行し、語学力の向上を図っていきます。そして、今回の海外インターンシップで目標達成できなかったコミュニケーションを図ること、という項目を克服するため日常的に意識して生活していきます。

## 7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

今回の海外インターンシップへ行って後悔した人は私を含め誰一人いないと思います。「海外」「インターンシップ」というのはハードルが高いと感じるかもしれませんが、そんなことはありません。インターンシップへ行ったことがない人も初めてのインターンシップにこの海外インターンシップを選んでみてはどうでしょうか。

## 8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

株式会社デリカ様、タイデリカ様この度はお忙しい中私を海外インターンシップに受け入れてくださってありがとうございます。このような貴重な経験を二年次に経験できたことを心より感謝申し上げます。ホテル、飛行機の予約、スケジュール調整、何から何までして頂いたお陰で円滑なインターンシップとなりました。貴社のご活躍を心よりお祈り申し上げます。